

屋根軒先等の氷柱防止用融雪装置

発明の名称 「氷柱防止装置」

特許番号 特許第 4092390 号

権利者 株式会社ニーズプロダクト、福島県

【主な特徴】

極めて簡単な構造により、地面に滴下する融雪水を加熱して、確実に氷柱の発生を防止することができる氷柱防止装置です。

【従来技術の課題・問題点】

従来の屋根融雪装置としては、木造住宅の鉄板葺き屋根の場合、鉄板屋根の下に電熱ヒータを埋設して屋根の雪を融雪することが一般に行なわれています。しかしながら、屋根板を直接加熱する方法では、融雪水が軒先に流れて来て、地面に滴下する時に冷たい外気に触れて凍結し、氷柱が形成されてしまう問題があります。この氷柱が太く、且つ長く垂れ下がってくると、軒下の通行に支障となる。また氷柱が万一落下すると、この下を通行している人や車に当たって怪我をしたり車を損傷する危険があります。

【課題解決のポイント】

アルミニウム製の丸パイプの内側裏面に複数の電熱ヒーター線を密着して取付けると共に、融雪水を導く樋溝を形成し、この丸パイプを軒先に、傾斜して取付けたものです。

【技術の概要】

本発明は、アルミニウム製の丸パイプに内蔵された電気ヒーターを屋根軒先に取付けて軒先からの氷柱の発生防止を目的として使用とする以外に、橋梁の横梁やトンネルの出入口、トンネル内の漏水箇所など氷柱発生部位に沿って取付けることにより広範囲にわたって氷柱の発生を防止することができる技術です。



写真1 柳津町瑞光寺橋(全景)

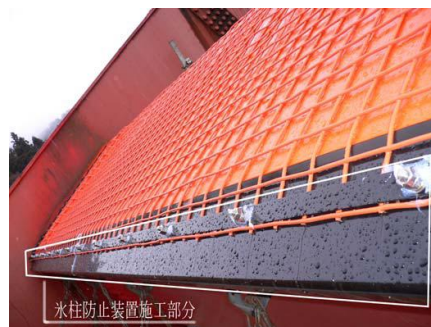


写真2 柳津町瑞光寺橋(氷柱防止装置)

- 実施許諾 要相談
- 共同研究等 可能
- 事業化の実績 あり(実施許諾中)